

大学番号 013

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

山形大学大学院 農学研究科 農学専攻

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人山形大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部企画IR課

職名・氏名 カチョウ カワタマサユキ
課長・川田正之

電話番号 023-628-4190

（夜間） 023-628-4190

e-mail kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院農学研究科

農学専攻	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人山形大学

(2) 大学名

山形大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒997-8555
山形県鶴岡市若葉町1番23号

[〒990-8560
山形県山形市小白川町一丁目4番12号]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	※該当なし		
学長	(タマテ ヒデトシ) 玉手 英利 (令和2年4月)		
研究科長	(ムラヤマ ヒデキ) 村山 秀樹 (令和3年4月)		
専攻長	(タイラ サトシ) 平 智 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
農学研究科 農学専攻 修士（農学）	農学関係	年 2	人 32	年次 人	人 64		基礎となる学部等 農学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和3年度		令和4年度								平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 32 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.96倍	-	
志願者数	35 (-) [3]	(-) [-] []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	35 (-) [3]	(-) [-] []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	35 (-) [3]	(-) [-] []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	31 (-) [3]	(-) [-] []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	0.96												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和3年度		令和4年度								備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	31 [3] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	31 [3] (-)		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	31人	0人	令和3年度	0人	0人	
令和4年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
人	人		人	人		
			人	人		
			人	人		
人	人		人	人		
			人	人		
			人	人		
			人	人		
人	人		人	人		
			人	人		
			人	人		
			人	人		
			人	人		
合計		0人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<農学研究科 農学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科	地域創生・次世代形成・多文化共生論	1前	2			1						
	小計(1科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0		
基礎専門科目	異分野連携論	1後		1								兼2 共同
	異分野実践研修	1通		1								兼2 共同
	キャリア・マネジメント	1前		1								兼1
	研究者としての基礎スキル	1前		1		1						兼8 オムニバス
	データサイエンス	1後		1								兼4 オムニバス
	Academic Skills : Scientific Presentations + Writing	1後		1								兼2 共同
	社会文化創造論	1前		1								兼3 オムニバス
	知財と倫理	1後		1								兼1 集中
	技術経営学概論	1前		1								兼4 集中
	食の未来を考える	1後		1		3	3		2			オムニバス
	Global Materials System Innovation	1前		1								兼1
	先端医学特論	1後		2								兼15オムニバス
小計(12科目)	-		0	13	0	4	3	0	2	0		兼38 -
共通科目	環境保全型食農連携実習	1前		1			3					オムニバス ※講義
	農学最前線	1前		1			7	1				オムニバス
	Intensive Scientific Communication Course in English	1後		1								兼1 集中
	小計(3科目)	-		1	2	0	9	1	0	0	0	
基幹科目	畜産学特論	1・2前		1		1						
	家畜生産利用学特論	1・2前		1			1					
	果樹園芸学特論	1・2後		1		1	1					共同
	野菜園芸学特論	1・2後		1						1		
	観賞植物学特論	1・2前		1		1						
	植物病理学特論	1・2前		1		1	1					オムニバス
	動物生態学特論	1・2後		1		1	1					
	栽培土壌学特論	1・2前		1		1						
	生産機械学特論	1・2前		1		1						
	作物栽培学特論	1・2前		1		1						
	作物学特論	1・2前		1					1			
	食農環境経済学特論	1・2前		1		1						
	消費者行動特論	1・2前		1					1			
	食農環境政策学特論	1・2後		1		1						
	農業会計学特論	1・2前		1		1						
	食農環境社会学特論	1・2後		1						1		
	食農環境地理学特論	1・2前		1		1						
	家畜管理学特論	1・2前		1		1						
	動物分子生殖科学特論	1・2後		1		1						
	応用微生物学特論	1・2後		1		1						
	生物資源化学特論	1・2前		1		1						
	食品微生物学特論	1・2後		1		1						
	バイオマス資源学特論	1・2前		1		1						
	細胞生化学特論	1・2前		1		1						
	分子生化学特論	1・2後		1		1						
	食品創製科学特論	1・2前		1		1						
	作物育種学特論	1・2前		1		1				1		
	植物ゲノム遺伝学特論	1・2後		1		1						
	農産物生理学特論	1・2前		1		1						
	応用メタボロミクス特論	1・2前		1		1						
	植物遺伝資源学特論	1・2前		1		1						
	植物栄養学特論	1・2前		1		1						
	土壌生物資源学特論	1・2後		1		1						
	生理活性物質化学特論	1・2前		1		1						
	生物有機化学特論	1・2後		1		1						
	微生物資源利用学特論	1・2前		1		1						
	食品栄養化学特論	1・2後		1		1						
	森林化学特論	1・2前		1		1						
	資源経済学特論	1・2前		1		1						
	砂防学特論	1・2前		1		1						
	森林影響学特論	1・2後		1		1						

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科	地域創生・次世代形成・多文化共生論	1前	2					2	1			
	小計(1科目)	-	2	0	0			2	1	0	0	0
基礎専門科目	異分野連携論	1後		1								兼1
	異分野実践研修	1通		1								兼1
	キャリア・マネジメント	1前		1								兼1
	研究者としての基礎スキル	1前		1		1						兼7 オムニバス
	データサイエンス	1後		1				1				兼5 オムニバス
	Academic Skills : Scientific Presentations + Writing	1後		1								兼2 共同
	社会文化創造論	1前		1								兼3 オムニバス
	知財と倫理	1後		1								兼1 集中
	技術経営学概論	1前		1								兼3 集中
	食の未来を考える	1後		1		1	3		1			オムニバス
	Global Materials System Innovation	1前		1								兼1
	先端医学特論	1後		2								兼15オムニバス
小計(12科目)	-		0	13	0	6	3	0	1	0		兼36 -
共通科目	環境保全型食農連携実習	1前		1			3					オムニバス ※講義
	農学最前線	1前		1			7	1				オムニバス
	Intensive Scientific Communication Course in English	1後		1								兼1 集中
	小計(3科目)	-		1	2	0	9	1	0	0	0	
基幹科目	畜産学特論	1・2前		1		1						
	家畜生産利用学特論	1・2前		1			1					
	果樹園芸学特論	1・2後		1		1	1					共同
	野菜園芸学特論	1・2後		1						1		
	観賞植物学特論	1・2前		1		1						
	植物病理学特論	1・2前		1		1	1					オムニバス
	動物生態学特論	1・2後		1		1	1					
	栽培土壌学特論	1・2前		1		1						
	生産機械学特論	1・2前		1		1						
	作物栽培学特論	1・2前		1		1						
	作物学特論	1・2前		1						1		
	食農環境経済学特論	1・2前		1		1						
	消費者行動特論	1・2前		1						1		
	食農環境政策学特論	1・2後		1		1						
	農業会計学特論	1・2前		1		1						
	食農環境社会学特論	1・2後		1						1		
	食農環境地理学特論	1・2前		1		1						
	家畜管理学特論	1・2前		1		1						
	動物分子生殖科学特論	1・2後		1		1						
	応用微生物学特論	1・2後		1		1						
	生物資源化学特論	1・2前		1		1						
	食品微生物学特論	1・2後		1		1						
	バイオマス資源学特論	1・2前		1		1						
	細胞生化学特論	1・2前		1		1						
	分子生化学特論	1・2後		1		1						
	食品創製科学特論	1・2前		1		1						
	作物育種学特論	1・2前		1		1				1		
	植物ゲノム遺伝学特論	1・2後		1		1						
	農産物生理学特論	1・2前		1		1						
	応用メタボロミクス特論	1・2前		1		1						
	植物遺伝資源学特論	1・2前		1		1						
	植物栄養学特論	1・2前		1		1						
	土壌生物資源学特論	1・2後		1		1						
	生理活性物質化学特論	1・2前		1		1						
	生物有機化学特論	1・2後		1		1						
	微生物資源利用学特論	1・2前		1		1						
	食品栄養化学特論	1・2後		1		1						
	森林化学特論	1・2前		1		1						
	資源経済学特論	1・2前		1		1						
	砂防学特論	1・2前		1		1						
	森林影響学特論	1・2後		1		1						

卒業要件及び履修方法

- (修了要件)
- ・修士課程に2年以上在学して、所定の授業科目の中から30単位以上を習得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
- (履修方法)
- ・基盤教育科目から必修として2単位を修得すること。
 - ・基礎専門科目から選択必修として2単位以上を修得すること。
 - ・研究科共通科目から2単位以上(必修科目1単位及び選択必修1単位以上)を修得すること。
 - ・基幹科目から選択必修として特論5単位又はグローバル食農環境論5単位を含む6単位以上を習得すること。
 - ・研究実践科目から18単位以上(必修科目10単位及び選択必修8単位以上)習得すること。

卒業要件及び履修方法

- (修了要件)
- ・修士課程に2年以上在学して、所定の授業科目の中から30単位以上を習得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
- (履修方法)
- ・基盤教育科目から必修として2単位を修得すること。
 - ・基礎専門科目から選択必修として2単位以上を修得すること。
 - ・研究科共通科目から2単位以上(必修科目1単位及び選択必修1単位以上)を修得すること。
 - ・基幹科目から選択必修として特論5単位又はグローバル食農環境論5単位を含む6単位以上を習得すること。
 - ・研究実践科目から18単位以上(必修科目10単位及び選択必修8単位以上)習得すること。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

該当なし

【令和4年度】

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	124 科目	0 科目	128 科目	4 科目 [0]	124 科目 [0]	0 科目 [0]	128 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{128} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	374,451 m ²	—m ²	—m ²	374,451 m ²				
	運動場用地	125,722 m ²	—m ²	—m ²	125,722 m ²				
	小 計	500,173 m ²	—m ²	—m ²	500,173 m ²				
	そ の 他	7,927,854 m ²	—m ²	—m ²	7,927,854 m ²				
	合 計	8,428,027 m ²	—m ²	—m ²	8,428,027 m ²				
(2) 校 舎	専 用	205,897 m ² 206,034 m² (205,897 m ²) -(206,034 m²)	—m ² (—m ²)	—m ² (—m ²)	205,897 m ² 206,034 m² (205,897 m ²) -(206,034 m²)				
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
(3) 教 室 等	102 室	75 室	359 室	17 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)	大学全体			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			令和3年3月 専任教員3名退職 令和3年4月 専任教員1名採用(3)			
	農学研究科農学専攻		56 58 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科・専攻単位で特定 不能なため大学全体の 数 教育研究の充実による 変更(3)	
	—	1,096,045 [316,437] 1,092,962 [317,660]	24,963 [7,087] 24,861 [7,066]	7,977 [6,506] 7,940 [6,873]	6,973 6,933	22 144	51 717		
	—	1,096,045 [316,437] 1,092,962 [317,660]	24,963 [7,087] 24,861 [7,066]	7,977 [6,506] 7,940 [6,873]	6,973 6,933	22 144	51 717		
	計	1,096,045 [316,437] 1,092,962 [317,660]	24,963 [7,087] 24,861 [7,066]	7,977 [6,506] 7,940 [6,873]	6,973 6,933	22 144	51 717		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	12,866 m ²		1,487 席 1,422 席		1,064,445 冊 1,060,056 冊		図書スペースの見直し による変更(3)		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	7,067 m ²		陸 上 競 技 場	野 球 場					
			サ ッ カ ー 場	テ ニ ス コ ー ト					
			水 泳 プ ール (50m)	武 道 場					
		弓 道 場	重 量 挙 練 習 場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(3)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山形大学						学生募集停止学科数	26	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文社会科学部	4	290	3年次20	1200	学士 (文学, 学術, 法学, 政策科学, 経済学)	1.04	1.02	—	平成29		
人文社会科学科	4	290	3年次20	1200	学士 (文学, 学術, 法学, 政策科学, 経済学)	1.04	1.02	—	平成29	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
人文学部	4	—	—	—	学士 (文学, 法学, 経済学, 政策科学)	—	—	—	昭和42		
人間文化学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	—	—	平成8	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	平成29年学生募集停止
法経政策学科	4	—	—	—	学士 (法学, 経済学, 政策科学)	—	—	—	平成18	同上	平成29年学生募集停止
地域教育文化学部	4	175	—	700	学士 (教育学, 学術)	1.03	1.03	—	平成17		
地域教育文化学科	4	175	—	700	学士 (教育学, 学術)	1.03	1.03	—	平成24	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
児童教育コース	4	80	—	320	学士 (教育学)	1.03	1.01	—	平成24	同上	
文化創生コース	4	95	—	380	学士 (学術)	1.03	1.05	—	平成29	同上	
理学部	4	210	—	840	学士 (理学)	1.03	1.00	—	昭和42		
理学科	4	210	—	840	学士 (理学)	1.03	1.00	—	平成29	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
数理科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	平成7	同上	平成29年学生募集停止
物理学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年学生募集停止
物質生命化学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	平成7	同上	平成29年学生募集停止
生物学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年学生募集停止
医学部		173		978	学士 (医学, 看護学)	1.00	1.01	令和3	昭和48		
医学科	6	113	—	728	学士 (医学)	1.00	1.01	令和3	昭和48	山形県山形市飯田西二丁目2番2号	定員変更(8)
看護学科	4	60	3年次5	250	学士 (看護学)	1.00	1.00	—	平成5	同上	
工学部	4	650		2600	学士 (工学)	1.03	1.01	—	昭和24		
(昼間コース)											
高分子・有機材料工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.03	1.05	—	平成29	山形県米沢市城南四丁目3番16号	
化学・バイオ工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.03	0.99	—	平成29	同上	
情報・エレクトロニクス学科	4	150	—	600	学士 (工学)	1.02	1.00	—	平成29	同上	
機械システム工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.03	1.00	—	平成2	同上	
建築・デザイン学科	4	30	—	120	学士 (工学)	1.02	1.00	—	平成29	同上	
機能高分子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成12	同上	平成29年学生募集停止
物質化学工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成12	同上	平成29年学生募集停止

バイオ化学工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成22	同上	平成29年学生募集停止
応用生命システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成12	同上	平成29年学生募集停止
情報科学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成12	同上	平成29年学生募集停止
電気電子工学科 (フレックスコース)	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成12	同上	平成29年学生募集停止
システム創成工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.06	1.02	—	平成22	同上	
農学部	4	165	—	660	学士 (農学)	1.02	1.01	—	昭和24		
食料生命環境学科	4	165	—	660	学士 (農学)	1.02	1.01	—	平成22	山形県鶴岡市若葉町1番23号	
【大学院】											
社会文化創造専攻 (修士課程)	2	24	—	48	修士 (文学, 政策科学, 臨床心理学, 学術)	1.04	1.04	—		令和3	
社会文化創造専攻	2	24	—	48	修士 (文学, 政策科学, 臨床心理学, 学術)	1.04	1.04	—		令和3	山形県山形市小白川町一丁目4番12号
社会文化システム研究科 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (文学, 政策科学)	—	—	—		平成9	
文化システム専攻	2	—	—	—	修士 (文学)	—	—	—		平成9	山形県山形市小白川町一丁目4番12号
社会システム専攻	2	—	—	—	修士 (政策科学)	—	—	—		平成9	同上
地域教育文化研究科 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (臨床心理学, 学術)	—	—	—		平成21	
臨床心理学専攻	2	—	—	—	修士 (臨床心理学)	—	—	—		平成21	山形県山形市小白川町一丁目4番12号
文化創造専攻	2	—	—	—	修士 (学術)	—	—	—		平成21	同上
医学系研究科 (博士課程)	4	26	—	104	博士 (医学)	0.96	1.00	—		昭和54	
医学専攻	4	26	—	104	博士 (医学)	0.96	1.00	—		昭和54	山形県山形市飯田西二丁目2番2号
(博士前期課程)	2	22	—	43	修士 (看護学, 医学)	0.63	0.54	—			
看護学専攻	2	16	—	32	修士 (看護学)	0.59	0.62	—		平成9	同上
先進的医科学専攻	2	6	—	12	修士 (医科学)	0.74	0.33	—		平成29	同上
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士 (看護学, 医学)	0.87	1.28	—			
看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	1.10	1.33	—		平成19	同上
先進的医科学専攻	3	4	—	12	博士 (医科学)	0.82	1.25	—		平成29	同上
生命環境医科学専攻	3	—	—	—	博士 (医科学)	—	—	—		平成16	同上
理工学研究科 (博士前期課程)	2	264	—	528	修士 (理学, 工学)	1.04	1.01	—		昭和45	
理学専攻	2	53	—	106	修士 (理学)	0.93	0.92	—		平成29	山形県山形市小白川町一丁目4番12号
化学・バイ工学専攻	2	67	—	134	修士 (工学)	1.01	1.01	—		令和3	山形県米沢市城南四丁目3番16号
情報・エレクトロニクス専攻	2	62	—	124	修士 (工学)	1.08	1.08	—		令和3	同上
建築・デザイン・マネジメント専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	1.00	1.00	—		令和3	同上

機械システム工学専攻	2	63	—	126	修士 (工学)	1.16	1.03	—	平成5	同上	定員変更 (13)
物質化学工学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成16	同上	令和3年学生 募集停止
バイオ化学工学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成22	同上	令和3年学生 募集停止
応用生命システム工学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成16	同上	令和3年学生 募集停止
情報科学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成16	同上	令和3年学生 募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成16	同上	令和3年学生 募集停止
ものづくり技術経営学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成17	同上	令和3年学生 募集停止
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士 (理学、工 学、学術)	0.77	0.66	—			
地球共生圏科学専攻	3	5	—	15	博士 (理学、工 学、学術)	1.26	1.60	—	平成11	山形県山形市小白川 町一丁目4番12号	
物質化学工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	1.10	0.66	—	平成28	山形県米沢市城南四 丁目3番16号	
バイオ工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学 術)	0.25	0.25	—	平成22	同上	
電子情報工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学 術)	0.50	0.25	—	平成22	同上	
機械システム工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学、学 術)	0.55	0.00	—	平成22	同上	
ものづくり技術経営学専攻	3	2	—	6	博士 (工学、学 術)	1.00	1.00	—	平成19	同上	
有機材料工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学 術)	—	—	—	平成22	同上	平成28年学生 募集停止
有機材料システム研究科									平成28		
(博士前期課程)	2	98	—	196	修士 (工学)	1.04	1.11	—			
有機材料システム専攻	2	98	—	196	修士 (工学)	1.04	1.11	—	平成28	山形県米沢市城南四 丁目3番16号	定員変更 (13)
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (工学)	1.03	1.10	—			
有機材料システム専攻	3	10	—	30	博士 (工学)	1.03	1.10	—	平成28	同上	
農学研究科									昭和45		
(修士課程)	2	32	—	64	修士 (農学)	0.96	0.96	—			
農学専攻	2	32	—	64	修士 (農学)	0.96	0.96	—	令和3	山形県鶴岡市若葉町 1番23号	
生物生産学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成7	同上	令和3年学生 募集停止
生物資源学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成14	同上	令和3年学生 募集停止
生物環境学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成7	同上	令和3年学生 募集停止
教育実践研究科									平成21		
(専門職学位課程)	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	0.92	0.85	—			
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	0.92	0.85	—	平成21	山形県山形市小白川 町一丁目4番12号	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<農学研究科 農学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名					担当授業科目名				担当授業科目名	
専	教授	小沢 亙 <令和3年4月> 博士(農学)	小沢 亙 <令和3年4月> 博士(農学)								
		食農環境経済学特論 食農環境経済学専門演習 修士特別研究	食農環境経済学特論 食農環境経済学専門演習 修士特別研究								
専	教授	三橋 渉 <令和3年4月> 理学博士	三橋 渉 <令和3年4月> 理学博士								
		細胞生化学特論 細胞生化学専門演習 修士特別研究	細胞生化学特論 細胞生化学専門演習 修士特別研究								
専	教授	平 智 <令和3年4月> 博士(農学)	平 智 <令和3年4月> 博士(農学)								
		農学最前線 ※ 果樹園芸学特論 学外実習(インターンシップI) 学外実習(インターンシップII) 国際理解(海外研修) グローバル食農環境論 修士特別研究 修士特別演習 研究インターンシップ 果樹園芸学専門演習	農学最前線 ※ 果樹園芸学特論 学外実習(インターンシップI) 学外実習(インターンシップII) 国際理解(海外研修) グローバル食農環境論 修士特別研究 修士特別演習 研究インターンシップ 果樹園芸学専門演習								
専	教授	林田 光祐 <令和3年4月> 農学博士	林田 光祐 <令和3年4月> 農学博士								
		農学最前線 ※ 森林保全管理学特論 森林保全管理学専門演習 修士特別研究	農学最前線 ※ 森林保全管理学特論 森林保全管理学専門演習 修士特別研究								
専	教授	村山 哲也 <令和3年4月> 農学博士	村山 哲也 <令和3年4月> 農学博士								
		生理活性物質化学特論 生理活性物質化学専門演習 修士特別研究	生理活性物質化学特論 生理活性物質化学専門演習 修士特別研究								
専	教授	浦川 修司 <令和3年4月> 博士(農学)	浦川 修司 <令和3年4月> 博士(農学)								
		研究者としての基礎スキル ※ 農学最前線 ※ 畜産学特論 畜産学専門演習 修士特別研究	研究者としての基礎スキル ※ 農学最前線 ※ 畜産学特論 畜産学専門演習 修士特別研究								
専	教授	小関 卓也 <令和3年4月> 博士(農学)	小関 卓也 <令和3年4月> 博士(農学)								
		食の未来を考える ※ 食品微生物学特論 食品微生物学専門演習 修士特別研究	食の未来を考える ※ 食品微生物学特論 食品微生物学専門演習 修士特別研究								
専	教授	依谷 圭太郎 <令和3年4月> 博士(農学)	依谷 圭太郎 <令和3年4月> 博士(農学)								
		環境保全型食農連携実習 ※ 植物栄養学特論 植物栄養学専門演習 修士特別研究	環境保全型食農連携実習 ※ 植物栄養学特論 植物栄養学専門演習 修士特別研究								
専	教授	村山 秀樹 <令和3年4月> 博士(農学)	村山 秀樹 <令和3年4月> 博士(農学)								
		食の未来を考える ※ 環境保全型食農連携実習 ※ 農学最前線 ※ 農産物生理学特論 農産物生理学専門演習 修士特別研究	食の未来を考える ※ 環境保全型食農連携実習 ※ 農学最前線 ※ 農産物生理学特論 農産物生理学専門演習 修士特別研究								
専	教授	長谷 修 <令和3年4月> 博士(農学)	長谷 修 <令和3年4月> 博士(農学)								
		植物病理学特論 ※ 植物病理学専門演習 修士特別研究	植物病理学特論 ※ 植物病理学専門演習 修士特別研究								
専	教授	江頭 宏昌 <令和3年4月> 博士(農学)	江頭 宏昌 <令和3年4月> 博士(農学)								
		植物遺伝資源学特論 植物遺伝資源学専門演習 修士特別研究	植物遺伝資源学特論 植物遺伝資源学専門演習 修士特別研究								

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	柳原 敦 <令和3年4月> 学士(農学)	専	准教授	柳原 敦 <令和3年4月> 学士(農学)						
		砂防学特論 砂防学専門演習 修士特別研究			砂防学特論 砂防学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	石川 雅也 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	石川 雅也 <令和3年4月> 博士(農学)						
		資源環境計画学特論 農地環境工学専門演習 修士特別研究			資源環境計画学特論 農地環境工学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	小笠原 宣好 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	小笠原 宣好 <令和3年4月> 博士(農学)						
		觀賞植物学特論 觀賞植物学専門演習 修士特別研究			觀賞植物学特論 觀賞植物学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	角田 憲一 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	角田 憲一 <令和3年4月> 博士(農学)						
		栽培土壌学特論 栽培土壌学専門演習 修士特別研究			栽培土壌学特論 栽培土壌学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	菊池 俊一 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	菊池 俊一 <令和3年4月> 博士(農学)						
		森林影響学特論 森林影響学専門演習 修士特別研究			森林影響学特論 森林影響学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	花山 葵 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	花山 葵 <令和3年4月> 博士(農学)						
		移動現象学特論 水田環境科学専門演習 修士特別研究			移動現象学特論 水田環境科学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	小林 隆 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	小林 隆 <令和3年4月> 博士(農学)						
		植物病理学特論 ※ 植物病理学専門演習 修士特別研究			植物病理学特論 ※ 植物病理学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	服部 聡 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	服部 聡 <令和3年4月> 博士(農学)						
		微生物資源利用学特論 微生物資源利用学専門演習 修士特別研究			微生物資源利用学特論 微生物資源利用学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	笹沼 恒男 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	笹沼 恒男 <令和3年4月> 博士(農学)						
		植物ゲノム遺伝学特論 植物ゲノム遺伝学専門演習 修士特別研究			植物ゲノム遺伝学特論 植物ゲノム遺伝学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	家串 哲生 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	家串 哲生 <令和3年4月> 博士(農学)						
		農業会計学特論 農業会計学専門演習 修士特別研究			農業会計学特論 農業会計学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	小川 三四郎 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	小川 三四郎 <令和3年4月> 博士(農学)						
		資源経済学特論 資源経済学専門演習 修士特別研究			資源経済学特論 資源経済学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	渡邊 一哉 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	渡邊 一哉 <令和3年4月> 博士(農学)						
		環境水工学特論 環境水工学専門演習 修士特別研究			環境水工学特論 環境水工学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	佐藤 智 <令和3年4月> Ph. D. (英国立イースト アングリア大学)	専	准教授	佐藤 智 <令和3年4月> Ph. D. (英国立イースト アングリア大学)						
		動物生態学特論 動物生態学専門演習 修士特別研究			動物生態学特論 動物生態学専門演習 修士特別研究						
専	准教授	藤科 智海 <令和3年4月> 博士(農学)	専	准教授	藤科 智海 <令和3年4月> 博士(農学)						
		食の未来を考える ※ 食環境政策学特論 食環境政策学専門演習 修士特別研究			食の未来を考える ※ 食環境政策学特論 食環境政策学専門演習 修士特別研究						

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	教授	評司 修一 <令和3年4月> 博士(理学) データサイエンス※						
兼任	教授	三上 英司 <令和3年4月> 教育学修士 社会文化創造論※	兼任	教授	三上 英司 <令和3年4月> 教育学修士 社会文化創造論※						
兼任	教授	加藤 健司 <令和3年4月> 修士(文学) 社会文化創造論※	兼任	教授	加藤 健司 <令和3年4月> 修士(文学) 社会文化創造論※						
兼任	教授	脇 克志 <令和3年4月> 博士(理学) データサイエンス※	兼任	教授	脇 克志 <令和3年4月> 博士(理学) データサイエンス※						
兼任	教授	下平 裕之 <令和3年4月> 修士(経済学) キャリア・マネジメント	兼任	教授	下平 裕之 <令和3年4月> 修士(経済学) キャリア・マネジメント						
兼任	教授	園田 順彦 <令和3年4月> 博士(医学) 先端医科学特論※	兼任	教授	園田 順彦 <令和3年4月> 博士(医学) 先端医科学特論※						
兼任	教授	岩井 岳夫 <令和3年4月> 博士(工学) 先端医科学特論※	兼任	教授	岩井 岳夫 <令和3年4月> 博士(工学) 先端医科学特論※						
兼任	教授	中島 修 <令和3年4月> 博士(薬学) 先端医科学特論※	兼任	教授	中島 修 <令和3年4月> 博士(薬学) 先端医科学特論※						
兼任	教授	古澤 宏幸 <令和3年4月> 博士(工学) 異分野連携 異分野実践研修 データサイエンス※	兼任	教授	古澤 宏幸 <令和3年4月> 博士(工学) 異分野連携 異分野実践研修						
兼任	教授	落合 文吾 <令和3年4月> 博士(工学) Academic Skills: Scientific Presentations + Writing	兼任	教授	落合 文吾 <令和3年4月> 博士(工学) Academic Skills: Scientific Presentations + Writing						
兼任	教授	中西 正樹 <令和3年4月> 博士(工学) データサイエンス※	兼任	教授	中西 正樹 <令和3年4月> 博士(工学) データサイエンス※						
兼任	教授	村上 正泰 <令和3年4月> 博士(医学) 研究者としての基礎スキル※ 先端医科学特論※	兼任	教授	村上 正泰 <令和3年4月> 博士(医学) 研究者としての基礎スキル※ 先端医科学特論※						
兼任	教授	富松 裕 <令和3年4月> 博士(地球環境科学) 研究者としての基礎スキル※	兼任	教授	富松 裕 <令和3年4月> 博士(地球環境科学) 研究者としての基礎スキル※						
兼任	教授	東原 知哉 <令和3年4月> 博士(工学) Global Materials System Innovation	兼任	教授	東原 知哉 <令和3年4月> 博士(工学) Global Materials System Innovation						

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	佐藤 秀則 <令和3年4月> 博士(医科学)	兼任	助教	佐藤 秀則 <令和3年4月> 博士(医科学)									
		先端医科学特論※			先端医科学特論※									
兼任	助教	高澤 由美 <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	助教	高澤 由美 <令和3年4月> 博士(学術)									
		技術経営学概論			技術経営学概論									
兼任	助教	JIPTNER Karolin <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	助教	JIPTNER Karolin <令和3年4月> 博士(工学)									
		研究者としての基礎スキル※ Academic Skills: Scientific Presentations + Writing			研究者としての基礎スキル※ Academic Skills: Scientific Presentations + Writing									
兼任	講師	Martin ROBERT <令和3年4月> Ph. D. (McGill University)	兼任	講師	Martin ROBERT <令和3年4月> Ph. D. (McGill University)									
		Intensive Scientific Communication Course in English			Intensive Scientific Communication Course in English									
兼任	講師	ニツ川 章二 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	講師	ニツ川 章二 <令和3年4月> 博士(工学)									
		放射線特論			放射線特論									
兼任	講師	青柳 斉 <令和3年4月> 博士(農学)												
		特別講義 I												
			兼任	講師	鎌谷 豊生 <令和3年4月> 博士(農学)									
					特別講義 I									
兼任	講師	玉木 秀幸 <令和3年4月> 博士(農学)												
		特別講義 II												
			兼任	講師	大村 賢一 <令和3年4月> 農学博士									
					特別講義 II									
兼任	講師	吉村 千洋 <令和3年4月> 博士(工学)												
		特別講義 III												
			兼任	講師	眞木 康司 <令和3年4月> 博士(農学)									
					特別講義 III									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の進年数**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

井上奈穂准教授辞任により、小林翔准教授が就任。井上奈穂准教授の担当科目「食品栄養化学特論」「食品栄養化学専門演習」「修士特別研究」を小林翔准教授へ変更。松本大生准教授辞任。
及川彰教授辞任により、及川彰教授の担当科目「応用メタボロミクス特論」「応用メタボロミクス専門演習」を村山秀樹教授へ変更。
教育課程充実のため、佐藤智准教授を「地域創生・次世代形成・多文化共生論」の担当教員に追加。
教育課程充実のため、渡辺昌規教授を「地域創生・次世代形成・多文化共生論」「食の未来を考える」の担当教員に追加。
教育課程充実のため、LOPEZ LARRY教授を「データサイエンス」の担当教員に追加。
教員配置の見直しのため、茄子川恒助教の「食の未来を考える」の担当なし。
昇任のため、江成広斗准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更。
昇任のため、栗原良樹助教の職名を「助教」から「准教授」に変更。
教育課程充実のため、群司修一教授を「データサイエンス」の担当教員に追加。
教育課程充実のため、柴田聡准教授を「データサイエンス」の担当教員に追加。
教員配置の見直しのため、中島健介教授は「技術経営学概論」の担当なし。
教員配置の見直しのため、古澤宏幸教授は「データサイエンス」の担当なし。
教員配置の見直しのため、関口雄一准教授は「研究者としての基礎スキル」の担当なし。
教員配置の見直しのため、永石尚也講師は「異分野連携論」「異分野実践研修」の担当なし。
青柳幸幸講師担当科目の「特別講義Ⅰ」を遊谷長生講師へ変更
玉木秀幸講師担当科目の「特別講義Ⅱ」を木村賢一講師へ変更
吉村千洋講師担当科目の「特別講義Ⅲ」を栗本康司講師へ変更

【令和4年度】

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
5	4	1
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
24	26	0	7	57	0	24	25	0	6	55	0
(24)	(26)	(0)	(7)	(57)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
55	2	0				53	2	0			
(55)	(2)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
24	25	0	6	55	0	24	26	0	7	57	0
[-]	[Δ1]	[-]	[Δ1]	[Δ2]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
53	2	0				55	2	0			
[Δ2]	[-]	[-]				[-]	[-]	[-]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{55}{57} = \boxed{96.49} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{55} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	井上 奈穂	R2.6	選択	食品栄養化学特論	①	退職のため就任辞退 (3)			
				選択	食品栄養化学専門演習	①				
				必修	修士特別研究	①				
2	教授	及川 彰	R3.3	選択	農学最前線	①	退職のため就任辞退 (3)			
				選択	応用メタボロミクス特論	①				
				選択	応用メタボロミクス専門演習	①				
				必修	修士特別研究	①				
3	准教授	松本 大生	R3.3	必修	修士特別研究	①	退職のため就任辞退 (3)			
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{57} = 5.26\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>教員交代による当該授業科目については、個々の教員から学生に対して丁寧に説明するとともに、オリエンテーション、学生便覧及びweb等で周知徹底を行った。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<農学研究科 農学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
※該当なし 記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位、選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD委員会の設置 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 6月、12月開催予定 c 委員会の審議事項等 授業の質の向上・改善に向けた取り組みについて ② 実施状況 a 実施内容 教員相互の授業参観(予定) b 実施方法 前期:7月 後期:11~12月(予定) c 開催状況(教員の参加状況含む) 未定 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 未定 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 前期:7月~8月 後期:1月~2月(予定) b 教員や学生への公開状況、方法等 教員へ公開、WebClassにて各科目の管理者が一定期間簡易集計を閲覧可能にする予定。
--

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するため、計画どおり実施している。引き続き、大学院教育更なる資質向上を図り、設置の趣旨・目的を達成していくこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和8年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○山形大学農学部FD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会規程

平成25年4月1日

(設置)

第1条 山形大学農学部に、山形大学農学部FD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育方法の改善を図るための組織的な活動(以下「FD活動」という。)の計画立案
- (2) FD活動内容の周知・実施
- (3) 教育方法向上方策の検討
- (4) FD活動の検討及び見直し
- (5) 教職員及び学生がFD活動に参加できる体制の構築
- (6) その他FD活動に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 学科長
 - (2) 各コースから選出された教員 各1人
 - (3) 事務部長
 - (4) 1年次を除く各学年から選出された学部学生 各1人
 - (5) 修士課程に所属する大学院学生 2人
- 2 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を得て意見を求めることができる。

(任期)

第4条 [前条第1項第2号](#)に掲げる委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、[第3条第1項第1号](#)に掲げる委員をもって充てる。
- 3 副委員長は、[第3条第1項第2号](#)に掲げる委員の互選によってこれを定める。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(事務)

第6条 委員会の事務は、鶴岡キャンパス事務部学務課において遂行する。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関する必要な事項は、委員会において定めることができる。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月28日)

この規程は、平成26年3月28日から施行する。

附 則(平成28年3月24日)

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成28年9月21日)

この規程は、平成28年9月21日から施行し、平成28年6月22日から適用する。

附 則(平成29年7月20日)

この規程は、平成29年7月20日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

附 則(平成30年2月6日)

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(平成31年3月25日)

この規程は、平成31年4月1日から施行する。